

デザイン科は、1年生が実社会のデザイン現場での研修を通して、学習意欲を高めるとともに、専門的なデザイン技術の向上を図る目的で県外研修を実施しました。

午前中は、大阪に本社を構える「株式会社 阪急デザインシステムズ」を訪れました。「阪急デザインシステムズ」は今年で創立14年を迎え約200名の従業員を抱える会社です。バスが会社に着した時には、数名の社員の方が出迎えてくださいました。

「クリエイティブが世界を創る」を信念とし、最近では地方創生分野でも確実に実績を上げている活気に満ち溢れた会社でした。



1台数億円という最新の印刷機を目の前に説明を聴く生徒たち。



実際の撮影現場

現場の独特な雰囲気に触れることができ、生徒たちにはいい経験となりました。





デザイナーとして2年目を迎えた方から、実感のこもったお話を伺うことができました。生徒たちは、積極的に質問をしていました。



午後からは、徳島県にある大塚国際美術館を訪れました。



学芸員の方から作品の裏話や制作秘話など、具体的な説明を聴き、熱心にメモを取る生徒たちに思わず感嘆の声を漏らしてしまいました。

